

環境経営の基本方針

環境に配慮した製品の開発・製造・販売を行うことにより、広く社会に貢献します。

■ 環境・品質保証担当役員のメッセージ

地球環境を守り、持続可能な社会を築いていくことは、近年もっとも重要な課題となっています。それぞれの企業が社会の一員として、地球温暖化の防止や環境汚染を防止する具体的な行動をすることが大切です。

当社は環境対応技術の開発に取り組み、環境を守り、資源・エネルギーを活かす商品開発とその品質の向上に努めてきました。水性塗料、粉体塗料や低温硬化、省工程、高耐久性塗料や鉛・クロムフリー化など、消費エネルギーの削減、温暖化ガスの排出削減、有害物質の排除に貢献する多くの環境配慮形商品を開発し、市場に展開しています。また、ISO9001とISO14001を品質と環境のマネジメントシステムの基礎として、研究開発から原料調達、生産工程、流通販売、塗装工程を経て廃棄に至るまでのライフサイクル全体での環境影響を最小とし、その品質保証システムを構築しています。

当社は、日本レスポンシブル・ケア協議会(JRCC)の設立発起人会社として、レスポンシブル・ケア(RC)活動を推進してきました。RC活動は化学会社の事業活動で「環境・安全・健康」を最優先課題として取り組み、その活動の成果を公表し地域社会との対話、コミュニケーションを行うものです。

今後も法令・規則を遵守し、環境・安全・健康に配慮した企業活動を地域社会の皆さんとともに進めてまいります。



取締役専務執行役員 管理本部長 瀬古 宜範

環境方針

大日本塗料株式会社は、「環境負荷が小さく持続可能な経済社会を築いていくことが重要である」との認識のもと、地球規模の環境保全活動を継続的かつ着実に推進しながら、塗料及び関連製品の開発・製造・販売を通じ社会に貢献する事を基本とする。活動は、以下の環境方針に基づき全員が一致協力して行う。

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ① 製品の研究開発から生産・販売・サービスを経て廃棄に至るまでのライフサイクル全体に渡り、事業活動から生じる環境への影響を常に的確に評価・把握できる環境マネジメントシステムを確立し、実施し、環境汚染を予防する。 ② 環境マネジメントシステムを実施、維持し、PDCAサイクルによる継続的改善を図る。 ③ 事業活動、製品及びサービスに係わる環境関連法規制、並びに当社が同意するその他の要求事項を遵守することを約束する。 ④ 環境保全推進のため、次のテーマを重点的に取り組む。これらの活動は、環境方針に基づき、目的・目標を立て計画的に実施すると共に、内容を定期的に見直し、改善する。 | <ul style="list-style-type: none"> 1. 環境負荷低減を可能にする塗料及び関連製品の開発、販売 2. 揮発性有機化合物の適切な管理と削減 3. 産業廃棄物の発生抑制とリサイクル促進 4. 省エネルギー並びに地球温暖化防止活動 ⑤ 環境方針は文書化し周知徹底すると共に、グループ会社を含めた全従業員(パート、派遣者等を含む)に対し環境教育を行うと共に、当社の事業活動に関与する人も含めて、環境保全に対する理解と意識の向上を図る。 ⑥ この環境方針は一般に公開する。 |
|---|--|